

報道関係者各位

2023年1月10日  
株式会社アマナ

## オンライン写真コンテスト「IMA next #40」応募作品募集 ～テーマは「Sound and Voice」 | 審査員は榮榮&映里～

コミュニケーション変革をクリエイティブで実現する株式会社アマナ（本社：東京都品川区、代表取締役社長 兼 グループ CEO 進藤博信、以下「アマナ」）にて、“LIVING WITH PHOTOGRAPHY”をコンセプトに、雑誌、オンラインなど多角的にアートフォトを発信する『IMA』は、この度、オンライン写真コンテスト「IMA next #40」の応募作品を募集します。



@ RongRong&inri

アート写真プロジェクト『IMA』が主宰する「IMA next」は、誰もが応募できるグローバルなオンライン写真コンテストです。毎月、国内外の多彩なゲストを審査員に迎え、月ごとにひとつのテーマを掲げ、応募の中から優れた作品を選出。新たな才能の発掘を目的とするプラットフォームとなっています。第40回の審査員は、アジアの写真界を牽引するアーティストデュオ・榮榮&映里（ロンロン&インリ）。作家活動のみならず、彼らが主宰する現代アートセンター、三影堂撮影芸術中心（北京、アモイ）を通して現代写真の発掘、普及、発展も積極的に行なっています。二人が掲げる IMA Next のテーマは、「Sound and Voice」です。

音や声を発するはずのない写真が、聴覚までも呼び覚まし、深く記憶に残ることはありませんか？ 榮榮&映里は、そういった現象を引き起こす写真からは“振動”が伝わってくると考えます。混沌の時代においては、まずは自身の作品が発する“振動”を自覚した上で、外に向かってその“振動”を伝えることが重要であり、そこから新たな表現の可能性が見出されるのではないのでしょうか。目に見えない“振動”を、ぜひ写真で表現してみてください。

## ▼応募要項

テーマ：「Sound and Voice」

<https://ima-next.jp/entry/sound-and-voice/>

審査員：

榮榮&映里（ロンロン&インリ）

受付期間：

2022年12月16日（金）～2023年2月17日（金）

応募方法：

投稿を希望する各テーマの専用フォームからご応募ください。

※テーマごとに応募フォームが異なりますので、ご注意ください

※1回のエントリーで1～5枚までの写真のアップロードが可能です

※複数の写真をアップロードした場合は同一シリーズ作品として審査されます

※別シリーズとして応募する場合は、別途エントリーをお願いします

応募資格：

16歳以上（国籍、年齢、性別、経験＜プロ、アマチュア＞問わず）

※個人またはグループでの応募も可

応募費用：

1エントリーにつき、¥2,000（税込み）

※支払方法：クレジットカードのみ（Visa、Mastercard、American Express）

作品規定：

対象作品は静止画に限る

- ・撮影後にソフトウェアやアプリ等で加工した作品も応募可
- ・DVD・BluRayなどのメディアでの応募は受け付けていません
- ・写真表現とみなすことができないと判断したものは審査対象に該当しない場合があります
- ・1エントリーで10MBのファイルを5枚まで投稿可
- ・第三者の権利（著作権、商標権、肖像権など）を侵害する作品は応募いただけません。第三者の著作物（美術品、映画、写真、音楽など）その他の権利が含まれる作品は、当該第三者から事前承認を得ていることが必要です

問合せ：

TEL/ 03-3740-0303、E-Mail/ [imanext@imaonline.jp](mailto:imanext@imaonline.jp)

▼賞について

◎グランプリ

・賞金 10 万円

・副賞 (以下のいずれかの中から作品に適した賞を進呈いたします。)

- ①雑誌『IMA』での作品掲載
- ②IMA ONLINE、IMA 公式 SNS にて作品紹介

◎ショートリスト

・IMA ONLINE や IMA 公式 SNS にて作品紹介

▼審査員プロフィール

榮榮 & 映里 (ロンロン & インリ)



榮榮(中国)と映里(日本)は、2000 年から共同で作業を行っています。彼らの作品は、共に作り上げた親密な世界を反映しており、伝統的技術であるモノクロ暗室技法の限界を押し広げています。「Mt.Fuji(富士山)2001」、「Liulitun(六里屯)1996-2003」、「Tsumari Story(妻有物語)2012-2014」など、高い評価を得ている一連の作品は、彼らが共にしている生活と周囲の環境を反映し、急速に変化する周囲の世界を掘り下げています。

2007 年、榮榮と映里は、北京の草場地芸術区に「三影堂撮影芸術センター」を設立。2008 年には、中国のとりわけ有望な若手写真家を発掘し、奨励することを目的とした「三影堂撮影賞(TSPA)」を創設しました。2010 年、「アルル国際写真祭(Les Rencontres d'Arles)」とのコラボレーションを開始し、2010 年から 2012 年までの 3 年間、北京で国際写真祭「Caochangdi Photo Spring Festival」を共同開催しました。彼らはこのコラボレーションを三影堂の厦門でも継続し、2015 年からは「集美×アルル国際写真祭(Jimei x Arles International Photo Festival)」を共同開催しています。

榮榮と映里は、アーティストとしてのキャリアとアジアの写真界に大きな影響を与えた功績により、2016 年ソニーワールドフォトグラフィーアワードで Outstanding Contribution to Photography 賞、2022 年には日本写真協会賞の国際賞を受賞しました。

## ▼ 「IMA next」とは

<https://ima-next.jp/>

IMA next は、誰もが応募できるオンラインの写真コンテストです。毎月ひとつのテーマを掲げ、月ごとに変わるゲスト審査員が優れた作品を選出します。優秀作品には賞が贈呈されるほか、IMA ONLINE や雑誌『IMA』での掲載、または展示の機会などのさまざまなチャンスが得られます。一枚の写真が、あなたの手の中から羽ばたくきっかけを創出してくれるプラットフォームとして、愛機で撮影した渾身の自信作から、思いがけずスマホで上手に撮れた写真まで、気軽に応募してください。IMA next から、新たな才能が発掘されることを期待しています。

### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社アマナ | Communication Design Room / 広報・PR 担当：武内、眞田

TEL：03-3740-3500（武内：090-7819-4897、眞田：070-4576-6867） MAIL：[pr@amana.jp](mailto:pr@amana.jp)

### 株式会社アマナ 会社概要

代表者：代表取締役社長 兼 グループ CEO 進藤博信  
所在地：東京都品川区東品川 2-2-43  
設立：1979年4月  
資本金：100百万円  
証券コード：東証グロース市場 2402  
売上高：（連結）17,748百万円 ※2021年度12月期実績  
従業員数：（連結）821名 ※2023年1月1日現在  
事業内容：ビジュアルコミュニケーション事業（コミュニケーション領域における戦略・企画立案、ブランドデザイン&アクティベーション、インナーコミュニケーション、コンテンツマーケティング、コンテンツ制作・編集、プロトタイピング、ムービー／グラフィック制作、WEB制作、その他各種プロモーション施策の立案など）  
URL：<https://amana.jp/>